

オンライン講義の方針について

大阪府立大学では、同期のオンライン講義（つまりライブ中継）は、禁止されています。また、ビデオを登録するにしても、授業支援システムに直接おく事はできないため、視聴のログをとることができません。

他方、文科省の判断で大学の講義と認めてもらうためには、ビデオを早回ししていること、あるいはビデオを視聴しないことがないことを、何らかの方法で保証することが求められます。

これに加えて、1方向のビデオでは集中力が20分程度で切れると言われています。そのため、残り時間を使う課題が提供されます。もちろん、質問を受け付ける仕組みが必要です。

これらの点を考慮して、以下のようにオンライン講義を進めてもらいたいと思います。

1) 予め、レポート課題を公開し、各問題がいつの講義に関連するかを明示する。（対面講義の場合は、講義の済んだ内容で問題を作成し解答を指示している。）

2) 講義資料を公開する。（対面講義では、説明の中に含めるクイズの答えが資料内に含まれることもあるため事前公開はしない。）

3) 資料の説明のビデオを作成、公開する。対面講義と比べて、時間が限られることもあり、講義資料を手元に置いて、説明をリピートさせたり、レポート課題を回答して自習することを推奨する。

4) ビデオ視聴後に、簡単な確認課題に回答する。これは、成績には関係しない。

5) レポート課題の該当問題の回答ができない時は、フォーラムを通して質問する。質問への回答はフォーラムまたは次のビデオで行われる。

6) 非同期のオンライン授業といっても、毎回の講義内容は1週間程度の間隔で提供される。従って、レポート課題は何週かけて完成させる。

7) レポートの提出は、別途指示するメールアカウントに添付ファイルで送る。受付期間は厳密に管理されるので、「完成させるのに時間がかかるので、提出が遅れました」は認められない。逆に、受付期間内であれば、より改善したレポートは何度提出しても良い。成績は、最新版の解答をもとに行われる。